

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2015-49236(P2015-49236A)

【公開日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-017

【出願番号】特願2013-183569(P2013-183569)

【国際特許分類】

G 01 N 29/12 (2006.01)

【F I】

G 01 N 29/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月9日(2016.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

検査対象を打撃するためのハンマーを固定したシャフトと、シャフトを駆動するための駆動手段と、駆動手段により移動したシャフトの復帰手段として、1枚の板ばねをシャフトに係合するとともに板ばねの弾性力を発現する状態に曲げ、板ばねの一部を、駆動手段を固定した構造物に固定することを特徴とする打音検査用打撃装置。

【請求項2】

前記板ばねをシャフトに対して対称形状に曲げたことを特徴とする請求項1記載の打音検査用打撃装置。

【請求項3】

前記板ばねを片側にのみ配置したことを特徴とする請求項1記載の打音検査用打撃装置。

。

【請求項4】

前記板ばねと前記シャフトの係合手段として、前記シャフトは前記板ばねの長手方向に長径を形成した長穴とはめ合うことを特徴とする請求項2記載の打音検査用打撃装置。

【請求項5】

前記板ばねと前記シャフトの係合手段として、前記シャフトは前記板ばねの長手方向に長径を形成した長穴とはめ合うことを特徴とする請求項3記載の打音検査用打撃装置。

【請求項6】

前記シャフトを駆動する駆動手段としてソレノイドアクチュエータを用いることを特徴とする請求項1記載の打音検査用打撃装置。

【請求項7】

複数の前記打音検査用打撃装置を前記板ばねの長手方向と直行する方向に並べて配置したことを特徴とする請求項1記載の打音検査用打撃装置。

【請求項8】

検査対象を打撃するためのハンマーを固定したシャフトと、シャフトを駆動するための駆動手段と、駆動手段により移動したシャフトの復帰手段として、1枚の板ばねをシャフトに係合するとともに板ばねの弾性力を発現する状態に曲げ、板ばねの一部を、駆動手段を固定した構造物に固定する打音検査用打撃装置からの打音を集音手段にて集め、該打音をA/D変換して処理することにより検査対象の状態を判別することを特徴とする打音検査

方法。